

科目名		授業形態	担当教員名	
基礎視能矯正学Ⅲ		講義	山本 雅美・山寄 統子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
本科目では斜視・弱視を評価する上で重要な検査である視能検査の目的と方法及び評価などについて基本的知識を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
①各視能検査の目的と方法を説明することができる。 ②検査結果より両眼視機能・眼球運動・AC/A比の評価ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	立体視検査（検査の目的、各検査の原理と手順）			
2	立体視検査（各検査の原理と手順、その他の遠近感覚の検査）			
3	網膜対応検査（赤フィルタ法、Bagolini線条検査、Worth 4 灯試験）			
4	網膜対応検査（残像検査、残像転送検査、その他の網膜対応検査）			
5	網膜対応検査（プリズム順応検査）			
6	眼球運動検査（正常範囲、視診による 9 方向むき眼位検査、眼性頭位異常の検査）			
7	眼球運動検査（眼性頭位異常の検査、Hess赤緑試験）			
8	眼球運動検査（Hess赤緑試験、複像検査）			
9	眼球運動検査（注視野検査、牽引試験）			
10	輻湊・開散（定義、種類、発達、神経支配と中枢、輻湊・開散の単位）			
11	輻湊・開散（検査 輻湊近点、融像性輻湊検査）			
12	輻湊・開散（検査 調節性輻湊、AC/A比）			
13	輻湊・開散（障害 AC/A比の障害）			
14	まとめ（立体視検査・網膜対応検査）			
15	まとめ（眼球運動検査・AC/A比）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	定期試験で評価する。		
レポート・課題				
小テスト		理解度を確認するために、適宜小テストを行う。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
眼科検査ガイド 第3版		根木昭 監修	文光堂	
視能学エキスパート 視能訓練学 第2版		若山曉美 他編	医学書院	
視能矯正学 改訂第3版		丸尾敏夫 編	金原出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				